

がん検診について



バランスが大切



健康目標

がん検診を受けよう！



はつらつちゃん

けんこう仙北通信

発行：仙北市保健課 令和5年5月1日号 NO.1
電話：0187-43-2252

がん検診を受けていますか？

がんは、2人に1人がかかる病気です。がんの治療技術は進歩お続けしており、早期発見・早期治療によって治る確率は高くなっています。がんで命を落とさないためにも、定期的にごがん検診を受けることが大切です。

❖仙北市で行っているがん検診の種類について

胃がん

対象者：40歳以上の方
(胃部エックス線検査)

受診間隔：1年に1回

肺がん等検診

対象者：40歳以上の方
(65歳以上は結核検診も含む)
受診間隔：1年に1回

※胸部エックス線検査を行い、
医師の必要と認めた場合は、喀
痰検査も行います。

大腸がん

対象者：40歳以上の方
受診間隔：1年に1回

※自分で採取した便を検診
機関に提出して、便潜血検
査を行います。

子宮頸がん

対象者：①20歳以上の女性
②41歳以上の女性の偶数年齢
受診間隔：①1年に1回
②2年に1回

※子宮頸部の細胞をこすりとって
調べる子宮細胞診を行います。

乳がん

対象者：40歳以上の女性
受診間隔：2年に1回

※マンモグラフィとよばれる乳房
エックス線検査を行います。

前立腺がん

対象者：40歳以上の男性
受診間隔：1年に1回

※採血検査

【注意】

「要精密検査」と判定された場合は必ず精密検査を受けてください。
検診で必ずがんが見つかるわけではありません。また、がんでない場合でも精密検査が必要と判定されることがあります。

自覚症状がある場合、検診を待たずに医療機関を受診してください。





がんは、初期の段階ではほとんど自覚症状がありません。そのため、気付かないうちにがんが進行し、自覚症状が現れたときにはすでに命が危険にさらされていることも少なくありません。早期のがんは90%治ります。治療が十分に可能な段階でがんを早期発見するために、定期的ながん検診を受けましょう。

※がんの5年生存率について（がんの診断から5年経過後生存している患者の比率）

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
ステージⅠ	94.7%	81.6%	95.1%	99.8%	95.0%
ステージⅣ	8.9%	5.2%	18.5%	35.4%	25.0%

出典：国立がん研究センター「がんの統計2021」

※ステージとは、がんの進行程度を数字で表したものです。0～Ⅳの5段階に分類されており、数字が大きいほど進行したがんになります。

がんを防ぐための新12か条

がんを予防するためには、日頃の生活習慣が重要といわれています。がんを防ぐために心がけたい「12か条」をご紹介します。

- 1条：たばこは吸わない
- 2条：他人のたばこの煙を避ける
- 3条：お酒はほどほどに
- 4条：バランスのとれた食生活を
- 5条：塩辛い食品は控えめに
- 6条：野菜や果物は不足にならないようにする
- 7条：適度に運動
- 8条：適切な体重維持
- 9条：ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条：定期的ながん検診を
- 11条：体の異変に気がいたら、すぐに受診を
- 12条：正しいがん情報でがんを知ることから



出典：公益財団法人がん研究復興財団「がんを防ぐための新12か条」